



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 アルプス技研 上場取引所 東
 コード番号 4641 URL https://www.alpsgiken.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 篤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 河野 晶 TEL 042 (774) 3333
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 2020年9月18日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	17,483	5.4	1,785	8.6	2,139	26.4	1,426	18.3
2019年12月期第2四半期	16,589	5.5	1,644	0.4	1,692	1.9	1,206	△3.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,411百万円 (23.1%) 2019年12月期第2四半期 1,146百万円 (△1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	69.48	—
2019年12月期第2四半期	57.66	—

(注) 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産額	純資産額	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	18,833	11,736	62.2
2019年12月期	19,471	12,165	62.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 11,712百万円 2019年12月期 12,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	35.00	—	38.00	—
2020年12月期	—	35.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、2019年12月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,320	5.4	4,270	6.4	4,270	4.2	2,910	0.1	139.02

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	24,746,675株	2019年12月期	24,746,675株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	4,287,637株	2019年12月期	3,797,910株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	20,538,478株	2019年12月期2Q	20,921,946株

(注) 当社は2019年7月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2020年12月期の個別業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,630	6.6	3,920	4.4	2,730	0.6	130.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
3. (参考)	
(1) 2020年12月期第2四半期の(要約)個別四半期損益計算書	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況で推移しました。一方、5月の緊急事態宣言解除後は徐々に経済活動が再開されつつあります。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社においても厳しい状況ではありますが、多くの主要企業は研究開発投資を維持しており、特に5G、ネットワーク関連の需要拡大を受けた半導体や、先端技術関連のソフト開発、感染症対策に伴う医療系分野の需要が堅調に推移いたしました。一方、自動車関連分野において、次世代車向けの研究開発スピードは一部に鈍化が見られました。

このような環境の下、当社は「チームアルプス」というビジョンを掲げ、より結束力の高い技術者集団となることを目指しています。また、当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策の強化、優秀な技術者の確保に努めました。さらに全社を挙げて、高稼働率の維持及び契約単価の向上、チーム派遣や、外国人社員の活躍推進等の営業施策に取組みました。以上のような施策の結果、稼働率は高水準を維持し、稼働人数、契約単価ともに上昇いたしました。一方で、感染症拡大防止対策により、稼働工数は減少いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第2四半期連結累計期間の売上高は174億83百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は感染症拡大の影響による出張旅費や集合型研修費用等の削減により、17億85百万円(同8.6%増)となりました。経常利益は、一部技術者の休業に伴う雇用調整助成金収入も加わったことから、21億39百万円(同26.4%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億26百万円(同18.3%増)となりました。

なお、当社は第2創業期にあたり、次世代に向けた強みを創出すべく、新規事業や、知名度向上に向けた施策を推進しております。特に、農業関連分野での外国人材活躍推進においては、子会社「株式会社アグリ&ケア」を中心に、国家戦略特区や、人材派遣会社で全国初の取得となった新在留資格「特定技能1号」を活用し、様々なアグリテック(農業とテクノロジーの融合)、就農人材の活躍を進めております。当社グループは、創業以来培ってきた高度な技術力と人材育成のノウハウを活かし、幅広い価値を提供いたします。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① アウトソーシングサービス事業

主要事業であるアウトソーシングサービス事業では、技術者派遣を中心に、技術プロジェクトの受託、事務派遣、職業紹介等も行っております。

アウトソーシングサービス事業におきましては、優秀な人材の確保、契約単価の改善を柱とした、採用及び営業施策に注力した結果、感染症拡大の影響による一部休業の発生や残業抑制のため稼働工数は減少したものの、稼働人数は増加し、引き続き契約単価も上昇いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は170億33百万円(同4.4%増)、営業利益は17億26百万円(同7.0%増)となりました。

② グローバル事業

グローバル事業では、海外におけるプラント設備、機械・設備機器等の据付及びメンテナンス並びに人材サービスを行っております。

グローバル事業におきましては、工事案件が計画通り検収されたことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は4億50百万円(同67.2%増)、営業利益は57百万円(同102.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は188億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億38百万円減少いたしました。これは、主に自己株式の取得に伴う現金及び預金の減少によるものであります。負債合計は70億96百万円となり前連結会計年度末に比べ2億9百万円減少いたしました。これは、主に未払金の減少によるものであります。この結果、純資産の部は117億36百万円となり前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少いたしました。

これらの結果、自己資本比率は62.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、当社グループに対する足元の派遣要請が引き続き堅調のため、2020年2月6日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループの業績も影響を受ける可能性があります。現時点では業績予想の修正が必要な状況ではありませんが、今後、修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,442,059	6,806,630
受取手形及び売掛金	5,382,018	5,042,430
仕掛品	155,568	135,820
原材料及び貯蔵品	961	961
その他	426,694	739,491
貸倒引当金	△2,115	△2,123
流動資産合計	13,405,188	12,723,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,013,586	3,016,902
減価償却累計額	△1,286,261	△1,333,295
建物及び構築物(純額)	1,727,325	1,683,607
土地	1,449,757	1,451,803
その他	397,364	403,995
減価償却累計額	△317,000	△329,648
その他(純額)	80,364	74,347
有形固定資産合計	3,257,447	3,209,758
無形固定資産		
のれん	277,321	248,129
その他	160,120	154,626
無形固定資産合計	437,442	402,756
投資その他の資産		
投資有価証券	1,020,504	929,015
関係会社株式	—	97,500
繰延税金資産	643,338	774,694
その他	928,485	919,312
減価償却累計額	△220,968	△222,873
その他(純額)	707,517	696,438
投資その他の資産合計	2,371,360	2,497,648
固定資産合計	6,066,250	6,110,163
資産合計	19,471,438	18,833,374

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	112,052	63,344
短期借入金	700,000	700,000
未払金	1,559,567	1,323,912
未払法人税等	864,974	905,294
賞与引当金	1,333,112	1,685,120
役員賞与引当金	32,085	12,932
その他	2,386,442	2,087,028
流動負債合計	6,988,234	6,777,633
固定負債		
退職給付に係る負債	206,035	199,559
その他	111,430	119,395
固定負債合計	317,466	318,954
負債合計	7,305,700	7,096,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	3,060,564	3,066,215
利益剰余金	10,425,509	11,056,439
自己株式	△3,963,015	△5,013,148
株主資本合計	11,870,221	11,456,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,173	246,032
為替換算調整勘定	15,021	10,128
その他の包括利益累計額合計	272,195	256,160
非支配株主持分	23,321	23,955
純資産合計	12,165,737	11,736,785
負債純資産合計	19,471,438	18,833,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	16,589,340	17,483,725
売上原価	12,291,991	13,274,548
売上総利益	4,297,349	4,209,176
販売費及び一般管理費	2,653,225	2,423,374
営業利益	1,644,123	1,785,802
営業外収益		
受取利息	1,514	2,164
受取配当金	16,459	14,265
助成金収入	13,062	303,057
受取賃貸料	18,313	2,103
受取補償金	—	43,503
為替差益	119	—
その他	22,569	25,033
営業外収益合計	72,037	390,129
営業外費用		
支払利息	1,960	923
賃貸収入原価	7,151	17,393
為替差損	—	5,519
その他	14,629	12,205
営業外費用合計	23,742	36,042
経常利益	1,692,418	2,139,888
特別利益		
固定資産売却益	84	183
寄附金収入	100,000	100,000
特別利益合計	100,084	100,183
特別損失		
固定資産売却損	425	—
固定資産除却損	2	0
投資有価証券評価損	1,171	79,214
特別損失合計	1,599	79,214
税金等調整前四半期純利益	1,790,903	2,160,857
法人税、住民税及び事業税	604,268	864,981
法人税等調整額	△19,949	△131,839
法人税等合計	584,319	733,141
四半期純利益	1,206,584	1,427,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	181	732
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,206,402	1,426,983

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,206,584	1,427,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,823	△11,141
為替換算調整勘定	△19,508	△4,992
その他の包括利益合計	△60,331	△16,133
四半期包括利益	1,146,252	1,411,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,146,777	1,410,948
非支配株主に係る四半期包括利益	△525	633

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株の取得を行いました。また、単元未満株式の買取請求による取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が10億50百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が50億13百万円となっております。

(追加情報)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2020年6月11日開催の取締役会において、株式会社デジタル・スパイスの全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。また、同日付で株式売買契約を締結いたしました。

1. 株式取得の目的

株式会社デジタル・スパイスは、約20年間の長きに渡り、機械、電気・電子、ソフトウェアの受託業務、技術者派遣を手掛け、宇宙の小型探査機の開発にも協力するなど、高い技術力を持つプロ集団としてお客様のものづくりを支援してまいりました。

今後は、両社のシナジーを強化しノウハウを結集することで、より一層当社グループの企業価値を高めてまいります。

2. 株式取得の相手先の名称等

個人1名

3. 取得する会社の名称、事業内容、規模(2020年6月期)

名称	株式会社デジタル・スパイス
事業内容	ソフトウェア開発、設計・製造、技術者派遣
資本金	27,500千円

4. 株式取得の効力発生の時期

2020年7月1日

5. 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

6. 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

取得株式数	540株
取得価額	335,000千円
取得後の持分比率	100%

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	16,319,912	269,428	16,589,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,000	154,425	156,425
計	16,321,912	423,853	16,745,765
セグメント利益	1,614,301	28,453	1,642,754

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,642,754
セグメント間取引消去	1,368
四半期連結損益計算書の営業利益	1,644,123

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	17,033,325	450,399	17,483,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,461	150,115	151,576
計	17,034,787	600,514	17,635,302
セグメント利益	1,726,957	57,585	1,784,542

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,784,542
セグメント間取引消去	1,259
四半期連結損益計算書の営業利益	1,785,802

3. (参考)

(1) 2020年12月期第2四半期の(要約)個別四半期損益計算書

科 目	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
I 売上高	14,314,447	14,896,615
II 売上原価	10,462,003	11,177,615
売上総利益	3,852,443	3,719,000
III 販売費及び一般管理費	2,302,976	2,055,764
営業利益	1,549,467	1,663,236
IV 営業外収益	224,547	409,073
V 営業外費用	94,061	35,946
経常利益	1,679,954	2,036,363
VI 特別利益	100,084	100,183
VII 特別損失	1,171	79,214
税引前四半期純利益	1,778,866	2,057,332
法人税、住民税及び事業税	556,462	769,873
法人税等調整額	△13,310	△131,378
四半期純利益	1,235,714	1,418,838

- (注) 1. 四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象とはなりません。
 2. 四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。